

令和5年度 埼玉県高等学校PTA連合会

進路指導専門委員会研修会 参加報告

令和5年11月20日(月)埼玉会館小ホールにて、令和5年度進路指導専門委員会研修会が開催されました。

進路指導協力部の理事3名で参加致しましたので以下の通りご報告いたします。



研修会 次第

- | | | |
|---------------|------------------|---------|
| 司会進行 | 埼玉県立小川高等学校PTA会長 | 木坂 倫久 様 |
| 1. 開会のことば | 埼玉県立浦和北高等学校PTA会長 | 石井 祐子 様 |
| 2. 開会行事 | | |
| (1) 委員長あいさつ | 埼玉県立越谷西高等学校PTA会長 | 間中 辰徳 様 |
| (2) 講評者紹介 | 司会 | |
| (3) 発表者・校長の紹介 | 司会 | |
| 3. 研究協議 | | |
| (1) 実践発表 | | |

【東部支部】埼玉県立越谷西高等学校PTA会長 間中 辰徳 様

9割以上の生徒が進学する中で、早い時期から「働く」ことに触れる学習、また具体的な自分の道を見つけ出せるような取り組みを行っている。

PTAでは進路講演会を開催し、家庭での子どもの進路選択への支援について学んだ。そこでは子どもにただ「任せる」ことは本人の力や経験の不足から子供の困惑を招くこと。親が本人の希望を否定する発言は子供を傷つけること。どんなことも熱心に話を聞く、お金の心配を払拭する等、家庭での子供の支援の仕方について考えた。

【西部支部】埼玉県立川越女子高等学校PTA会長 坂口 尊恵 様

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定校として、幅広い知性を身につけたゼネラリストと未来を求め活躍できるスペシャリストの育成を目指す。

PTAは「保護者として生徒を支える」と「保護者も川女を楽しむ」の二つの柱を基に活動し、コロナ後のニュースタンダードとなるようなPTA活動のあり方を模索している。

【南支部】埼玉県立浦和北高等学校PTA会長 石井 祐子 様

単位制による学習システムを導入している。多彩な科目から学年に関係なく選択し、興味関心や進路希望に応じた時間割が作れることが大きな魅力。

進路行事を通じ「将来やりたいことは何か、誰の役に立ちたいか、どう生きていきたいか」考えていく。

PTA活動をできる範囲で復活している。オンラインで保護者対象進路講演会を実施し、大学入試の最新情報と保護者の関わり方等について説明を受けた。

【北部支部】埼玉県立妻沼高等学校PTA会長 飯田 聡子 様

「学び直しから大学進学まで」様々な進路実現を図る生徒の育成に努めている。教育課程の特徴は「学び直し、つまずき解消、基礎固め」。県外からも注目される「カルティベートタイム（CT）」を実践している。

PTA活動では、親子のコミュニケーションを促進できるように工夫した事業を実施。「親子で進路の選択決定をする」ことをPTAが共有し、高校をバックアップしていく。

(2) 質疑応答

(3) 講評 埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 指導主事 青木 隆一郎 様

4. 情報提供

5. 閉会のことば 埼玉県立浦和北高等学校PTA会長 石井 祐子 様

今回実践発表を行った各支部代表4校は、それぞれに学校の特徴や伝統を活かしながら、生徒に自分の将来や進路を考えさせる教育を行っていると感じました。保護者も子どもの力を最大限に引き出すため、生徒のキャリアについて考える、個々の成長段階に応じた声掛けをする等の協力が不可欠であると実感いたしました。私たち進路指導協力部もその思いを胸に、先生方と協力してPTA活動をより良いものとするように努力してまいります。



文責 進路指導協力部